

卷之三

財團法人協調會大阪支所

意志を發揮するを得ずして終りたり斯の如き四面楚歌の中に組合組織を委員制度として漸次に進行時に當り突然會長始め役員なる者數十名馘首し以て本組組合の解散に強烈的行爲を敢てす實に會社當時者は怨むべき愚策を取られた然るに工手は會社側に對し意志の共通を圖りたるに斯の如き非人道鬭爭的毒手を下したる會社側を怨まざるを得ず此の暴行行爲は羊の如き從順なる組合の本意を根柢から覆がえした此の處に於て我々工手は期せずして會社に對し其の反省を望むと共に馘首諸兄に對する誠意を表す爲めに其の行動を敢行するに止無得ず茲に至る我等は元より争を重きにする組合でなき事を社會に辯明せん爲賢明なる貴下の批判を仰かん爲めに一書を以て我等の意を諒さん事を切望す

誠和會